

## 先輩たちの過去数年間の合格手記のうちごく一部を抜粋して掲載しました。

### ぜひ参考にしてね！

#### K子 大阪大学外国学部合格 (松山東高卒現役)

英語アカデミーへは中1から通っており、高3では難関大講座とセンター試験の模試だけ受講。アカデミーの授業は少人数で日本語訳の添削も丁寧で、外国人の先生が英作文を見てくださるのでとてもためになりました。また個人的に赤本の添削を9月頃から毎週していただいて、あまりできていない時も優しく教えてくださり、励ましてくださったのでとても心強かったです。私が問題を解くときに気を付けたことは、最初は解答を見ないことと時間を区切ること。本番の入試では電子辞書やスマホの使用はできず、答えもないので、周囲の単語から内容を類推する能力を養いました。また、阪大の外国語学部の英語は時間がかかなり限られているので大問ごとに時間を測り、全て解ききることを意識しました。加えて、私は単語を覚えるのが苦手だったので「東大英単語熟語鉄壁」という単語帳を辞書代わりに使っていました。最後に、自分の志望校より1つ上の大学を目標に勉強を進めてほしいと思います。目標に近づきすぎると油断が生まれやすく当初の志望校に届かなくなります。模試で良い判定が出た時は目標を高く設定し直して追い込み続けると結果は自ずと見えてくるはず。皆さんの受験が満足のいくものになることを祈っています。

#### K男 広島大学教育学部英語文化系合格 (松山東高卒現役)

高校入学時は英語が苦手でしたが、英語アカデミーで基礎を積み上げ、センター対策を始めた夏頃には150点台には乗っていました。東校のグループ幹部を務めていて多忙だった僕にとって、短時間で集中して学習に取り組めるアカデミーの環境は最適でした。秋に入ると本格的にセンター対策を。センター試験で大事なのは80分で解き切るスピードと情報処理能力です。文章中のどこが答えに直結するのか、問題作成者がどう引っ掛けてこうとしているのか、これらを冷静かつ迅速に考えなくてはなりません。僕はセンター対策を受講し始めた当初、150点からもう点が伸びるわけがないと思っていましたが、本番では95%という納得のいく点を出せました。僕が合格した広島大学は要約と英作文の配点が重くかなり苦戦しましたが、最後の最後まで先生が添削して下さり自信を持って二次試験に臨めました。難関大講座は敷居が高そうという印象があるかもしれませんがそんなことはありません。中堅大志望であっても、もっと英語を深く学びたいという意思があれば是非受けてみて下さい。必ず力になります。

#### H子 愛媛大学法文学部合格 (松山南卒現役)

英語アカデミーには以前から通っていましたが、センター試験に向けて、高3の夏からセンター対策講座に参加。初めは80分という限られた時間の中で、最後まで問題を解くことができませんでしたが、大問ごとに時間を決めて解くことで徐々に慣れていきました。また、先生に頂いたセンター対策用の単語プリントや、それまでに解いた問題を何度も見直しました。英単語は意味を覚えるだけでなく、実際に声に出すことで、発音、アクセントの対策にもなりました。センター直前になると、本番同様に問題を解き時間に慣れることで、学校での模試や本番でもリラックスして解くことができました。私が無事志望校に合格できたのも、英語アカデミーの先生方のご指導のおかげです。本当にありがとうございました。

#### M子 愛媛大学教育学部合格 (松山東高卒現役)

私はセンター試験の英語の得点を底上げし安定させるために、夏休みと冬休みの授業に参加。夏は文法の総復習と長文読解に力を入れた講座でそれまでおざなりになっていた弱点を徹底的に潰しました。この講座で英語をみっちり勉強したおかげで、夏休み以降の英語の受験勉強をスムーズに進めることができ、夏までにやればまだ間に合うということを実感。冬にはセンター試験追い込み講座に参

加。それまでなんとなくやっていた時間配分について熟考し、冬までに覚えたことを生かしてひたすらにマーク式問題を解きました。解き終わった後は先生がテンポよく解説をしてくれます。そこでまだおさえていない連語などが出てきたらその場で覚えるということを知りました。夏と冬両方に共通していたことは、鍛えたという実感が十分にあるということです。加えて先生方の普段からの助言や励ましの言葉もあり、本番では全く緊張することなく自信をもって解くことができました。私は理系科目に時間を割いていたため、英語の受験勉強を周りよりも遅れてスタートしましたが、最後には予定通り8割をマークし、得点源とすることができました。

#### T男 大阪大学工学部合格 (平成済美高卒現役)

英語が苦手な科目であり、夏休み前までの模試でとてもひどい点をとっていました。自分の行きたい大学に受かるためには英語は捨てることはできなかったため、英作文の力をつけようと英語アカデミーに通い始めました。英作文をメインでしようと思った理由は、阪大の二次英語ではとても差がつくところだったからという理由と、自分が英作文に特に苦手意識があったからです。英語アカデミーでの個別指導では阪大よりもレベルの高い京大の英作文を中心に指導して頂き、はじめは手も足も出ないという感じでしたが、和文英訳の日本語の解釈の仕方など授業を重ねるにつれて、「そういう風にできるのかー。」という感動から少しずつ英作文が楽しくなっていきました。英語の中で最も得意な分野にできました。また間に英文和訳も授業に取り入れ充実した内容の授業を受けられました。秋から冬にかけてとても楽しく英語を学ぶことができました。勉強は楽しく取り組むことができれば必ず伸びます。アカデミーの授業はその楽しさを見出す手助けをしてくれるはずですよ。頑張ってください。

#### M子 鳥取医学保健学科合格 (松山東高卒現役)

実はセンター試験で英語がものすごく悪く、二次試験勉強で英語アカデミーに非常にお世話になりました。二次試験科目は1教科。それも英語でした。鳥取大の英語は、かなりの文章量の長文2題と難関大に近い問題形式の英作文でとても不安になりました。しかし、元々センター前から二次対策をアカデミーでしてきたため長文はしやすく、英作文も最初は苦戦しましたが先生の添削や宿題のおかげで何とか形までもっていくことができました。志願者倍率は4.4倍で枠も少なく、しかも苦手意識の強かった英語試験で不安ばかりでしたが、先生たちの熱心なご指導やポジティブな言葉に本当に救われました。今があるのは間違いなくアカデミーのおかげです。

#### N子 九州大学法学部 (松山東高卒現役)

英語アカデミーには小学生の頃から通い、英検の勉強などもしてきましたが、高3の6月ごろから読解記述クラスに入り、本格的に大学入試の文章と向き合うようになりました。そこで非常に役に立ったのは、先生がまとめてくださった、「速読英単語」の単語プリントです。重要なものが厳選されており、それを全て頭に入れるだけでも相当な力になります。自分がまだ覚えられていない単語に印を付け、何度も何度も見直します。私は試験直前の休み時間にもこのプリントを活用しました。

センター試験に関しては80分の中で筆記1年分を解き切るという練習も大切だと思います。特に第3問以降は1問の得点が大きいので、そこで落とすことはないように意識しました。リスニングは、私自身正直苦手と感じていました。何度やっても30点代をウロウロ。それではだめだと思ったので、毎日CDを聞き、間違った問題はスクリプトを見直し、とにかく英語を耳に慣らしました。おかげで本番では48点を取ることができました。

英作文はネイティブの先生にたくさん添削していただきました。入試の場合はたいがい減点方式なので、難しい単語などを使おうとするのではなく、簡単な英語でも正確に書くことが一番重要です。私が英語に自信が持てたのも、英語アカデミーで先生方のご指導を受けられたからです。先生方には大変感謝しています。

#### I子 大阪大学外国語学部中国語専攻合格 (松山東高卒現役)

今思えば、1,2年生のときに積み上げた土台がしっかりしていたから、長文も読みやすかったのではないかなと思います。高3になり、田中先生の授業を受けるにつれてどんどん長文を読むスピードも上がり、模試を受けるたびに自分の英語の能力の向上を実感でき

ました。アカデミー以外で特に英語を勉強することはなかったので、とにかく先生の授業を習得し単語もコツコツ覚えました。阪大の二次では、日本語訳や英訳に苦労したのですが、私が大切にしていたことは、分からない単語に出会っても文脈から想像したり推測したりする、ということです。

私がやってよかったなと思うことが、徹底した繰り返しです。参考書や単語帳は何冊もいらなと思います。自分の決めた1冊を完璧にする方が、何冊にも手を出すよりずっと力になります。また過去問も2回解けるとより効果的だと思います。日々の積み重ねが必ず結果に繋がります。コツコツ頑張ってください！

#### K男 京都大学農学部資源生物科学科合格 (新田青雲卒現役)

高2の1月に受けたセンター英語の点数は100点台。これが僕が英語アカデミーに通うきっかけとなりました。実は英語は中学1年生のときからの苦手科目で、模試で解ききることすらままならない状態であり、このまま受験生になることに不安をつのらせていた頃でした。

僕が通っていたクラスは難関読解のみであり、センター対策は中心ではありませんでしたが、マーク模試で成果が顕著に現れ始めました。というのも、入塾して気づいたことですが、勉強には一定時間集中する習慣をつけることが重要です。いくら力をつけても試験中に発揮しなければ評価されないのが受験ですから、時間を計り、緊張感を持って問題解くことが出来る塾はその点で最適です。それはマークや記述に限ったことではありません。

英語が他の教科と違うのは「理解」に比べて「慣れ」の比重が大きいことです。国語や理科はいくらやっても解き方に気づかなければできませんが、英語は違います。僕はアカデミーの先生に言われて長文を毎日読むことにしていました。

センター直前は、記述対策はアカデミーだけにして、過去問を解きまくりました。良ければ本番の自信になり、悪ければ本番への不安材料になる。そうやって自分にプレッシャーをかけるために点数にこだわるのが大切です。結果的に190点を超える点数をとることができました。

センター後の記述対策は自習で過去問を解いて分析し、アカデミーで河合塾の予想問題を先生に添削してもらって、自分で気づかないところを修正しました。特に英作文は自分で添削することは不可能です。学校では難しいと思いますが、塾では1問ごとに先生が添削して下さったので自分の弱点をすぐに見つけることができ、本番でも安心して解くことができました。

#### A子 愛媛大学医学部看護科合格 (松山南高卒現役)

長文を見るだけで逃げ出したくなるほど英語は苦手でしたが、どうにかしたい！と思い高3の夏からセンター対策を受講しました。不安もありましたが、毎回通って文法や長文をこなしていくうちにしつかりと英語が読めるようになり、学校で行われる模試の点も驚くくらい上がりました。センター直前まで週二回のリズムを崩さず頑張ることができたので、センター当日は自信を持って臨むことができました。本番では英語に関してはもう少し取れたのに、と少し悔いがあったけれど、これまで英語はアカデミーに任せてきたおかげで、自宅では他の科目にもしつかり取り組むことができたので、合格できたのだと思います。

私は、英語はセンター試験のみだったのですが、週二回のアカデミーと学校の授業だけで十分対策出来ました。また、単語帳はDUOを使い、繰り返し覚えました。単語はこれ一冊と、アカデミーで配られたプリントしか使っていませんが、何回も繰り返すことで力になったし、単語がとて読みやすくなりました。

アカデミーでは本番のような雰囲気の問題を解くことができるし、おろそかにしがちなリスニングや、点の取りにくい発音アクセントまでしっかり対策できます。おかげで本番では、リスニングは自己最高点、発音アクセントは全問正解することができました。授業もわかりやすく、優しい先生方ばかりでとても通いやすかったです。初めは今から50点UPなんてあるのか・・・と思っていたけれど、本当に上げることができたし、見事志望校に合格できて、とても嬉しいです。何より、アカデミーのおかげで英語を学ぶのが好きになったので、本当によかったです。ありがとうございました。受験生の皆さん、アカデミーの先生方や自分を信じて頑張ってください。

#### M子 愛媛大学医学部医学科合格 (愛光高卒現役)

私がアカデミーでセンター用と二次読解用の授業を受けていました。

センター試験の勉強において、私がアカデミーに通っていて特に良かったと思うことは非常に効率よく勉強ができたことです。私はアカデミーの週2日の授業以外で家でセンター英語の勉強は一切しませんでした。それでも受講する前は良くできて75%しかとれなかったにもかかわらず、センター本番では98%という自分でも納得のいく結果を出すことができました。センター英語の勉強はアカデミーの授業を集中して受けて、間違えたところを書き出しておいて、次の授業前の10分で見直すということをして成功したのでオススメです。

難関大学読解の授業では、先生がとても丁寧な解説をして下さり、また全文を訳して下さるので、どんなに難解なものでもわからないと思うところを残すことなく、勉強を進めることができます。また自分の志望大学に沿った学習をする上で、類題を探して下さったり、添削をして下さり、自分ひとりでは決してできない勉強をすることができるので英語の勉強の仕方についてなど、不安なことがあったらまずアカデミーの先生に相談してみるといいです。全力でサポートして下さいます。また、長文はできるだけ多くの文章を読むといいと思います。それは、読めば読むほど実力がつくし、スピードも上がるからです。

私が春から第一志望の大学に入学できるのは本当にアカデミーのおかげです。後輩の皆さんもアカデミーを信じて勉強すれば英語に関しては自分の納得する結果が得られること間違いなしです。頑張ってください！

A男 香川大学医学部医学科合格 (愛光高卒現役)

僕が英語アカデミーに入ったのは高3の春頃でした。きっかけは、高校の先輩がこの熟から自分と同じ志望校に合格したのを知ったことです。

医学部志望だったので、センター試験でも二次試験でも英語の高得点が必要であると考えていました。しかし、センター試験で総合で84% (自己採点) しか取る事が出来ず、特に今回のセンター試験は、これまでで最も簡単であったと言われていたので、医学部志望である自分には大きなダメージでした。結果的に、志望校を受ける事が出来ませんでした。

英語を読むためには、文構造を把握する力と語彙力の2つが大切だと思っています。いくら難しい文構造が理解できて単語が分からないと文章にはならないので両方必要です。文脈判断にも限界があります。長文の文意が大切だからといってそれを優先し、先の2つを飛ばすと大学受験では点になりません。僕の場合、文構造の演習には『英文解釈教室へ (改訂)』の英文をひたすら和訳、英単語は『ターゲット1900』の目次を利用してチェックしていました。長文に関しては、手本にある参考書に載っているものを読めるようになってから他のものに手を出したほうがいいと思います。

英語アカデミーにいてよかったと思う事は、大学の傾向に合わせて多くの長文と英作文を提供してくれ、すべて丁寧に解説してくれたことです。大量にこなしたことで、二次試験本番前には大きな自信となっていました。二次試験への出発前日まで面倒を見てくれた田中先生と他の先生方に感謝しています。

H男 早稲田大学法学部合格 (松山東高卒現役)

私は英語があまり得意ではありませんでしたが、アカデミーの個別授業を受けた3年間で、語彙力や文法力を効率的に高めることが出来ました。個別授業では各自のペースに合わせて授業が進むので、学校の授業で受けた説明が分かりにくかった時や、自分の意見斗異なっていた時は遠慮なく先生に質問が出来ます。現在の自分があるのは、アカデミーのおかげであり、本当に感謝しています。

R子 愛媛大学法文学部合格 (松山東高卒現役)

私は中学時代英語が得意でしたが、高校に入り勉強をしなくなり、英語が苦手科目となり、いざ勉強を始めようと思っても、どこから手をつけていいのかさっぱりわかりませんでした。あわてて夏休みの後半、運動会準備が始まるまでの間ほぼ毎日英語アカデミーに通い、英語をずっとやっていた気がします。今までほとんど読めなかった長文問題も夏休み明けの模試ではある程度まで読めるようになりました。そのあともアカデミーのセンター対策を続けました。たまにこんなに問題数をこなす必要があるのか?と疑問に思ったり、旧形式の問題を解くことに関して疑問を持つこともありましたが、慣れという点で相当な問題数を解くことは無意味ではなかったと思

います。また、昨年形式が変わったから今年は変わることはない和高をくくってセンター試験に臨み、形式の変更に動揺してしまいましたが、今まであれだけやってきたんだと自分に言い聞かすことができたと思います。

また直前に毎回リスニングをテスト形式で行っていたので、最後の長めの文章も聞き取ることができました。

リスニングはやればやるほど結果が出る部分だと思いますが、家で一人で聞き流してしまったり、他の事が気になったりしてなかなか練習できませんでした。やはり、リスニングはポイントをしっかりと聞き取ることが一番大切だと思います。1)と2)は問題文や絵を見てある程度流れてくる言葉が想像できることがあるし、しっかり設問を読み込むことは大切だと思います。

あと、本番で使われるイヤホンが耳のサイズにちょっとあわず、初めは違和感はなかったのですが途中でだんだん耳が痛くなってしまいました。学校などに多分あるはずなので本番前にイヤホンのサイズ確認をすることをお勧めします。

## S子 大阪市立大学法学部 合格 (松山東高卒現役)

私は中学のときから英語が好きで得意でもあり、高校でも英語の力を伸ばすために、高1のころから英語アカデミーに入っていました。しかし、私が受験を本気で意識し始めたのは高3の夏休み明けです。大学受験は高3の夏休みが勝負だとよく聞くけれど、正直私は夏休みは宿題をこなすのに精一杯だったように思います。運動会準備にも追われていました。でも、英語アカデミーには夏休み中にも通い続け、センター対策などを行ったおかげで、夏休み明けの最初の模試では初めて180点以上取ることができました。センター対策をすれば、必ず点は伸びると実感したことを覚えています。模試を重ねていくなかで、点数が変動するのは当たり前です。私も模試によって何十点さがったりすることがありました。その時は確かにショックを受けるけれど、くじけずに自信を持つことが大切だと思います。英語の長文は読めば読むほど読解力が身につきます。英単語は覚えれば覚えるほど得をします。覚えすぎるということはありません。私も飽きるほどセンター対策の問題を解き続け、愛用していたD U Oの単語を全て覚えきりました。試験に一番大切なのは自信だと思います。自分はこんなに頑張ってきたんだ、できることをやりきったんだという自信が持てるように頑張ってください。得私が本番でも180点以上取れたのも今まで英語アカデミーで積み重ねた自信があったおかげです。苦しいときも辛いときも、くじけず乗り越えて、自信と合格を手にする事が出来るよう祈ってます。

## S子 横浜国立大学工学部 合格 (松山東高卒現役)

私は高3の夏休みから、友達に勧められて英語アカデミーに通い始めました。それまでは英語が全くとっていいほどできなくて、英語が大嫌いでした。ですが、英語アカデミーに通って、1週間もすると、以前は見るだけで嫌になっていた長文に何の抵抗も感じなくなり、少しずつ早く読めるようになりました。また、センター対策では様々な傾向の問題に触れることが出来たので本番で少し違う問題が出て、平常心で解くことができました。

英語アカデミーに通っていて良かったです。もっと早くから始めたかったです。

## N子 愛大法文学部合格 (松山中央高卒現役)

私は愛媛大学の法文学部の総合政策に合格しました。

使用してよかった参考書や問題集は(1)『速読英単語』、(2)アカデミーでもらった『瞬間英文法』です。英語は単語・文法・長文に分けて勉強したのですが、基本はこの2つの参考書と学校で購入した即ゼミや単語帳で十分だと思います。

私がセンターで英語の点数が8割以上とれたのは、アカデミーのセンター対策クラスのおかげです。センターでは、英語を読み取る力が必要です。この対策で、いろいろな形式の問題を解いたり、先生からアカデミーの先輩方の体験談を聞いたりしていたので、本番の英語の問題形式が変わっても解く事ができました。特に長文の問題は配点が高く、失敗することはできないので、いろいろな長文を読むことに努めました。私はセンターで数学が悪かった事が致命的でした。だから、全教科を偏りなく勉強することと、得意教科を伸ばすことが大切だと思います。英語は、勉強した分だけ結果が出る科目です。この言葉を信じて、私は高校3年間アカデミーに通い、英語が分かるようになりました。今の大学に合格できたのは、アカデミーのおかげです。ありがとうございました！